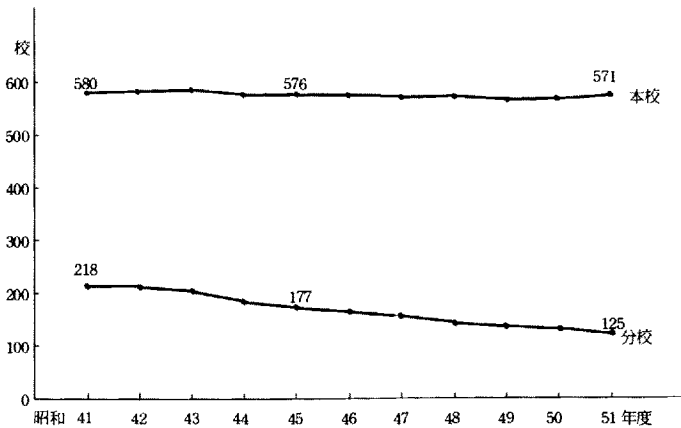


で2校、いわき市1校、相双地域の原町市1校となっている(表2-2-2)。

地域別学校の配置状況を昭和41年度、昭和45年度、昭和51年度における校数の比較からみると、本校数が昭和51年度において昭和41年度より増加しているのは、県中といわき地域で、その他の地域にあっては、いずれも減少している。

また、分校数は各地域とも大幅な減少を示している(表2-2-3)。

図2-2-5 本校及び分校の校数推移



注：1. 「学校統計要覧」(昭51)による。
2. 校数には、国、私立を含む。

表2-2-2 学校の廃止、設置状況

(単位：校)

区分	年度	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
廃止	統 合	1 (4)	4 (11)	5 (18)	6 (8)	4 (16)	2 (6)	1 (8)	2 (7)	1 (4)	1 (10)
	昇 格	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
設置	分 離	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—
	新 設	1	1	—	1	2 (1)	—	2	(2)	1	2
	計	3	3	3	3	3 (1)	3	2	(2)	1	3
	統 合	—	2	2	2	1	3	—	—	—	—

注：1. 「学校統計要覧」(昭42～昭51)による。
2. かっこ内の数は、分校数で、外数である。
3. 新設の内訳は、本校が福島市2校、郡山市6校、原町市1校、いわき市1校で分校が会津若松市1校、長沼町1校、矢祭町1校となっている。

表2-2-3 地域別学校数

(単位：校)

年度	地域	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき
41		130 (17)	142 (34)	55 (19)	105 (81)	23 (28)	58 (25)	67 (14)
45		128 (8)	142 (28)	54 (18)	104 (73)	23 (22)	56 (14)	69 (14)
51		125 (6)	144 (20)	52 (10)	103 (60)	20 (13)	57 (7)	70 (9)

注：1. 「学校統計要覧」(昭41, 昭45, 昭51)による。
2. かっこ内の数は分校数で、外数である。校数には、国、私立を含む。

以上の学校配置状況から、本県児童数の動態をみると、児童数は、これまで市部において緩慢に増加し、農山村部において急速に減少するという状況で推移してきたと想定される。